

## 事務事業評価シート(概要説明書)

事業名	交通安全教育・啓発事業	課室名	土木課	会計区分	一般会計
-----	-------------	-----	-----	------	------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	～	終了年度		
事業(補助)対象	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(具体的な事業(補助)対象者) 市内の幼稚園・保育所・小学校の園児・生徒や高齢者		
法令根拠	<input type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り		(具体的な法令、条例名等) 交通安全対策基本法		
事業の執行方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他		(委託先等)		
(事業背景・目的) 交通安全弱者に対し、交通安全教室・研修会等を通じ交通安全意識の高揚を図る。					
(事業の内容) 泉大津警察署等の関係機関及び市民ボランティアと連携し、市内の小学校・幼稚園・保育所を対象に交通安全教室を約年60回開催し、運転者講習会を年8回、街頭啓発を年6回、高齢者講習会・研修会を年5回行っている。					

### 【事業費】

項目/年度		H22(決算額)	H23(決算額)	H24(決算見込額)	H25(予算額)	備考	
事業費(千円)	事業費総額 ①	2,510	2,559	2,356	2,398		
	財源内訳(千円)	国庫支出金					
		府支出金					
		地方債					
		その他特定財源					
		受益者負担					
	一般財源	2,510	2,559	2,356	2,398		
人件費	正職員の年間延べ人数	0.5	0.5	0.5	0.5		
	嘱託・臨時職員の年間延べ人数						
	正職員年間延べ人数×単価	3,100	3,100	3,100	3,100		
	嘱託・臨時職員年間延べ人数×単価	0	0	0	0		
	人件費合計 ②	3,100	3,100	3,100	3,100		
総事業費(千円) ①+②		5,610	5,659	5,456	5,498		
平成24年度事業費内訳(単位:千円)		費目				金額	
		旅費				21	
		需用費				561	
		使用料及び賃借料				462	
		負担金、補助及び交付金				1,300	
公課費				12			

**【事業の必要性】**

事業の必要性	交通安全教室、研修会、街頭活動等を通して、交通安全の意識を高める。
--------	-----------------------------------

**【事業実績・成果】**

事業実績・成果指標	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度実績値	25年度目標値
街頭啓発参加人数	人	51	52	52	50
交通安全教室参加人数	人	6,050	6,081	5,747	5,500
運転者講習会参加人数	人	596	575	524	500
(成果指標を数値化できない理由)					
(具体的な事業の成果) 継続的な交通安全啓発活動により、市民に対して交通安全に対する啓発が広く周知されている。					

**【外部との連携・活用の可能性】**

外部との連携・活用の可能性	連携・活用先、連携・活用部分、不可能な理由を具体的に
<input type="radio"/> 既に事業全体・一部で連携・活用済	警察・交通安全協会・地域のボランティアと協力し、街頭活動を実施
<input type="checkbox"/> 今後事業の全部・一部で連携・活用可能	
<input type="checkbox"/> 連携・活用不可能	

**【庁内事業との統合、連携の可能性】**

類似事業の有無	<input type="checkbox"/>	類似事業あり	→	類似事務事業名		
	<input checked="" type="radio"/>	類似事業なし		統合・連携の可能性	可能性あり	可能性なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの改善点	交通安全教室で使用するDVDのバリエーションを増やし、実地訓練で使用するコースのレイアウトを変える等、わかりやすく飽きのこない啓発内容に努める。
----------	--

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	啓発活動、交通安全教室を行っていても、実際の交通マナーの悪さに問題があると考えられる。しかしながら、交通事故を減らし、防止する為にも啓発活動は継続していく必要がある。
---------	---

**【今後の方向性】**

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市民の交通安全に対する要望は多く、交通安全に関する意識を高める為にも、引き続き教室・研修会等を開催していく必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	引き続き、泉大津警察署・交通安全協会・地域のボランティアとの連携を強めていく。	

**【参考】**

比較参考値 (類団など他自治体での状況)	
-------------------------	--